

和歌山工業高等専門学校		開講年度	令和03年度 (2021年度)	授業科目	県内インターンシップ
科目基礎情報					
科目番号	0079		科目区分	専門 / 選択	
授業形態	実験・実習		単位の種別と単位数	履修単位: 2	
開設学科	電気情報工学科		対象学年	4	
開設期	通年		週時間数	2	
教科書/教材	事前指導における配布資料等				
担当教員	岩崎 宣生				
到達目標					
(1)実習先の就業規則等に従い、60時間以上の就業または研究体験を誠実に行う。 (2)インターンシップの内容（社外秘を除く）を整理し、報告書を作成できる。 (3)インターンシップの内容（社外秘を除く）を整理し、報告会で口頭発表することができる。					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安
実習態度と実習時間	実習先の就業規則等に従い、60時間以上の就業または研究体験を誠実に行うことができる。		実習先の就業規則等に従い、60時間以上の就業または研究体験を誠実に行うことが大体できている。		実習先の就業規則等に従い、60時間以上の就業または研究体験を誠実に行うことが全くできていない。
インターンシップ報告書の作成能力	インターンシップの内容（社外秘を除く）を整理し、わかりやすく詳細に記述できている。		インターンシップ報告書の記載内容に部分的に不十分な箇所がみられる。		インターンシップ報告書を作成できていない、あるいは記載内容が報告書の体を全く成していない。
インターンシップ成果発表会でのプレゼンテーション能力	インターンシップの内容（社外秘を除く）をわかりやすく発表できている。		発表内容（社外秘を除く）あるいは発表態度に部分的に不十分な点がみられる。		発表会に参加していない、あるいは発表内容・態度がその体を全く成していない。
学科の到達目標項目との関係					
C-2 C-3 D					
教育方法等					
概要	県内インターンシップは、これまでに学習した専門科目に関する専門知識等を活用し、夏季または春季休業中に和歌山県内の民間企業等での就業体験や大学等での研究体験を行うものである。よって、本科目は企業等で設計・開発・生産等に携わる技術者からその経験を活かし直接、実務を教わることとなる。実習先と実習期間は本校学生課を通じて決定される。実習終了後、実習報告書を作成し、実習成果発表会を実施する。				
授業の進め方・方法	最初にインターンシップにあたっての心得などを指導する「ビジネスマナー講習」等の「事前指導」を実施する。実習先と実習期間は本校学生課を通じて決定し、実習終了後、インターンシップ報告書を作成し、インターンシップ成果発表会を実施する。				
注意点	・事前学習：インターンシップの前に、実習にあたっての心得などを指導する「事前指導」を実施する。また、「ビジネスマナー講習」も実施する。インターンシップ希望者は、これらを必ず受講しなければならない。受講しない場合は、受け入れ先でのインターンシップを行うことができない。なお、実習期間はインターンシップ受け入れ機関が設定した日数・時間になるが、単位修得には、実習時間が60時間以上であることが必須となる。 ・事後学習：実習終了後、所定のインターンシップ報告書を作成し、学内で行うインターンシップ成果発表会（プレゼンテーションソフトを用いた口頭発表）にて発表することも単位修得の必須事項である。 ・実習先の調整について： ・和歌山県経営者協会が、本校学生課と受け入れ機関との間に入り、調整を行うことになっている。締切期日が早いので注意が必要である。全ての連絡は教務係を通じて行うことになる。 ・成績評価について：事前指導10％、就業・研究体験40％、実習成果発表20％、実習報告書30％で評価し、60点以上を合格とする。ただし、いずれかの項目が0点の場合は不合格とする。 ・その他： インターンシップ受け入れ機関（以下、受け入れ先）が設定したテーマで、就業・研究体験を実施する。受け入れ先の就業規則を遵守し、指導者等の指示に従い、誠実に履修すること。インターンシップ期間中は絶えずメモを取り、疑問点等は指導者に質問したり、自ら調べたりすること。受け入れ先によってはインターンシップ期間内に報告書の作成や報告会を義務付けているところもあるので、しっかり実習内容を把握・整理しておくこと。				
授業の属性・履修上の区分					
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応	
				☒ 実務経験のある教員による授業	
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	4月： ガイダンス、学生の希望・連絡方法等の調査	本科目の履修に必要な手続きの概要を説明できる。	
		2週	5月： 事前指導、ビジネスマナー講習	インターンシップ先の担当者との事前のやりとりおよびインターンシップ期間中における注意点を説明できる。また、本科目を履修する上での手続き上の必要事項を説明できる。	
		3週	上記以降7月まで： インターンシップ受入先の掲示、インターンシップ希望者の調整、 インターンシップ申込書等必要書類を作成・提出、 インターンシップの受入可否通知、 インターンシップ履修届記入・提出	インターンシップ受け入れ先を確定することができる。	
		4週	夏季休業中： インターンシップの開始・完了	インターンシップ受け入れ先の就業規則等に従い、60時間以上の就業または研究体験を誠実に行うことができる。	
		5週	9月～10月： インターンシップ成果報告会での口頭発表 インターンシップ報告書の提出	インターンシップの内容（社外秘を除く）について、記述および口頭で明確に説明することができる。	
		6週			
		7週			
		8週			

後期	2ndQ	9週			
		10週			
		11週			
		12週			
		13週			
		14週			
		15週			
		16週			
	3rdQ	1週			
		2週			
		3週			
		4週			
		5週			
		6週			
		7週			
		8週			
4thQ	9週				
	10週				
	11週				
	12週				
	13週				
	14週				
	15週				
	16週				
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標					
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
評価割合					
	事前指導	就業・研究経験	実習成果発表	実習報告書	合計
総合評価割合	10	40	20	30	100
分野横断的能力	10	40	20	30	100